

夢中熱中青春ライフ!

7回大会

大館ハチ公クラブ(バレーボール)

⑥

今回は大館ハチ公クラブをご紹介します。直径二十センチほどの白球に魅せられ、バレーボールに情熱を注いでいる皆さんです。今年には念願の全国大会出場の切符を手に入れました。部長の山野義子さん、主将の佐藤洋子さんから伺いました。

いってきます!

全国いそじ大会

ハチ公クラブというのは、平成二年の四月からスタートしたんです。市内に五つあるママさんバレーのチームから五十歳以



ハチ公は市民バレー大会でも優勝。エースアタッカー佐藤主将の技がさえています。

上の人、そして今年の十二月までに五十歳になる人などが集まって作ったチームで、メンバーはただいま十八人です。

平成元年から「全国家庭婦人バレーいそじ大会」が開催されていて、その大会への出場目指してがんばってきたんです。幸

い七月の全県大会で優勝できて、十月二十五、二十六日に新潟で開かれる全国大会へ出場できることになりました。予選ブロックを勝ち抜いてぜひ決勝トーナメントに残りたい、というよりも一つでも多く試合をしてきたいと思っっています。いそじのチームというのは、スパイクはさほど強くありませんが、粘り強くボールを拾うチームが



ほとんどです。根負けしないで一杯やってきたいですね。

「細く長く」生涯のものとして

私たちのクラブのモットーは「細く長く」。勝敗や年齢は別にして、人の和を図ること、年相応の運動量で健康を保つことなど、生涯のスポーツとしてバレーボールを楽しんでいます。週一回の練習も、家事などの都合で正味一時間ほどなんです。それも家族の理解があっこそです。そうして練習できて、メンバーにも恵まれたことなどの結果として、今回全国大会へ行けるんだと思っています。バレーを長く続けたいという皆さん、ハチ公クラブはいつでもだれでも入部大歓迎ですよ!

いわき発→大館着

前略

大館市民になりました①

☆今回は清水四丁目栗原弘泰さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか?
妻と子供二人の四人です。上の子が二歳、下の子が一歳です。

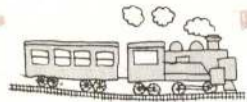
Q・どちらから転入されましたか?
福島県いわき市からきました。去年の九月ごろです。

Q・大館の第一印象はいかがでしたか?
海がない、屋根に瓦がないということですね。それと大館に来て初めて雪かきをしました。いわきでは雪はめったに降らなくて、降っても湿った重い雪なんです。こちらの雪は踏むと「キュッキュ」と音がするんですね。

Q・言葉や食べ物などでとまどいはありませんか?
言葉は最初は分からなかったです。特におじいちゃんやおばあちゃんたちが話す言葉というのは分からないですね。食べ物では魚の種類が少なかなという感じがします。いわきでは季節ごとにいろんな魚が揚がるんです。今もむこうからちよくちよく送られてくるんですよ。

Q・大館にどんなことを望みますか?
一口に言えば、内へでなく外へ向かって積極的にやっけていくということ。新しい物に挑戦していったほうがいいと思いますね。

それと市民の森や自然の家の展望台などは、案内も含めてもっと工夫をこらして整備したらいいんじゃないでしょうか。市民の森は広場が奥の方にありますから、案内が不十分だと入って行きにくいと思うんです。



弘泰さんと早苗さん、長男の裕太くん(左)と卓也くんです。